

年 組 番
(名前)



25年までにレジ袋全廃

◎記事から読み取ろう

○この計画づくりを進めている国連の機関

国連機関：

○計画の採択をめざす会議

会議名

いつ

どこで

○宣言案要旨をまとめよう。

・ねらい

・重点

・2025年までに行うこと

25年までにレジ袋全廃

国連環境関係宣言案 来年3月採択目指し

2025年までにプラスチック製のレジ袋やストロー、食器の使用を止め、最終的には使い捨てプラスチックの全廃を目指す戦略を各国がつくる、などとする国連環境計画(UNEP)の関連宣言案が15日、明らかにされた。国連加盟各国の環境相らが参加し、来年3月にナイロビで開く第4回国連環境総会(UNEA4)での採択を目指す。レジ袋を有料化し、プラスチックごみ排出を30年に25%削減するとした日本の環境省の「プラスチック資

業界反対で日本後手

レジ袋などの全廃を盛り込んだ国連環境総会の関係宣言案は、深刻化するプラスチックごみ問題に、業界の反対で国連環境総会から後れを取る日本への対応策は「削減」より止らした国は60カ国を超える。欧州

レジ袋などの全廃を盛り込んだ国連環境総会の関係宣言案は、深刻化するプラスチックごみ問題に、業界の反対で国連環境総会から後れを取る日本への対応策は「削減」より止らした国は60カ国を超える。欧州

国連環境総会の関係宣言案要旨
<ul style="list-style-type: none"> 各国の資源管理戦略を改善し、持続可能な生産と消費の実現に貢献 廃棄物の削減と管理のための政策を各国が策定、実施。特に食品ロス、プラスチックごみ、海洋プラスチックごみに重点を置く 2025年までにプラスチック製のレジ袋、ストロー、食器をなくし、使い捨てプラスチックの削減に向けた国の戦略を策定 25年までに全廃棄物のX% (数値は追って決定) を再利用、リサイクルすることに合意 廃棄物や化学物質の適切な管理に関する資金調達のための国際的アプローチを開始

ローや食器をなくすことを容器に関しては、リサイクル手始めに、使い捨てプラスチックや再利用を促進するため、プラスチックの国の戦略を策定する。25年段階の再利用率やリサイクル率の目標を確定する。日本は今年、カナダでの先進7カ国首脳会議(G7サミット)で、海のプラスチックごみを減らすための数値目標を盛り込んだ文書への署名を米などと拒否、批判を浴びた。その後、環境省がプラスチックごみの削減を目指す「資源循環戦略」案をまとめたが、「使い捨てプラスチックの全廃」は盛り込まれていない。

(佐賀新聞 2018.12.16 付)

◎広げよう・深めよう

○日本はどのように対応していますか。

◎自分の考えをまとめよう

* 友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○プラスチックごみ対策に日本の対応が遅れているのはなぜだろう。私たちは、どのようにすべきだろう。